

実りの秋 農産物ずらり

大曲駅前 きょうまで「フェア」

大仙市の農産物や加工品を、どを荷台に載せた軽トラック一堂に集めた「秋の稔りフェア」が18日、JR大曲駅前の花火通り商店街と大曲ヒカリオイVENT広場で始まった。雨の降る中、新鮮な野菜や地元の特産品を買い求める人たちがにぎわった。きょう19日まで。

花火通り商店街では、市内の農家や直売所による「軽トラ市」を開催。長ネギやサトイモといった旬の野菜、いぶりがっこ、ナス漬け、花卉なう声を聞けるのがうれしい。

毎年軽トラ市に出店しているという大仙市松倉の農家佐々木冷子さん(69)は、「いぶりがっこを売ってくれたお客さんが『大阪にいる息子に送る』と話してくれた。そういう

と話した。開店から1時間ほどで大根200本が売り切れという。

市健康福祉会館では、大曲高校商業科の生徒が地元製菓を自らが販売した。

市や農商工団体などで行うフェア推進協議会の主催。午前10時～午後3時。(針金友理子)



軽トラの荷台に野菜や農産物を広げて販売した「軽トラ市」